

ピロリ菌について

◎ ピロリ菌は胃・十二指腸かいようの原因になります。

胃・十二指腸かいようの
患者さんのピロリ菌感染率

■ ピロリ菌に感染していない
■ ピロリ菌に感染している



胃・十二指腸かいよう

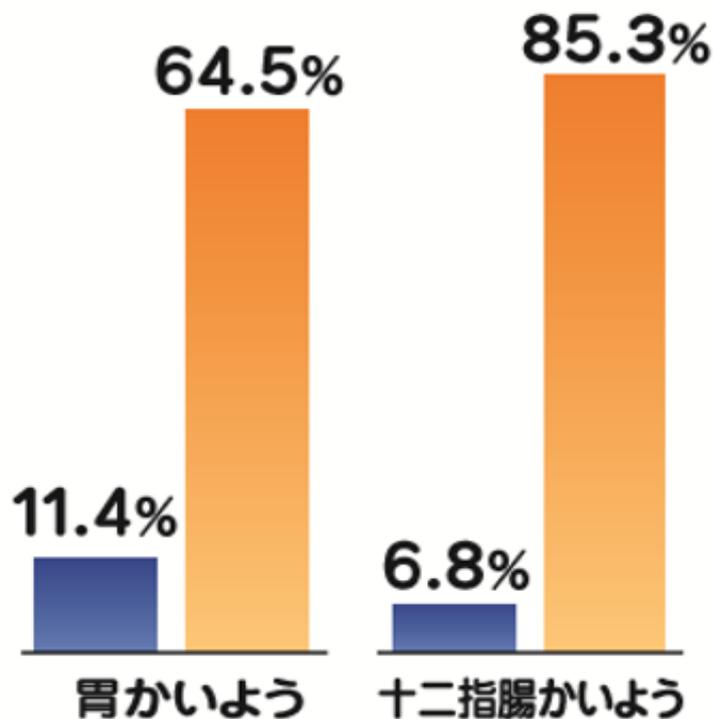
Asaka M. et al.: J. Gastroenterol. 38, 339, 2003

◎ **ピロリ菌**を除菌することによって、**胃・十二指腸かいよう**の再発率は著しく低下します。

1年間に再発する人の割合

■ 除菌できた場合

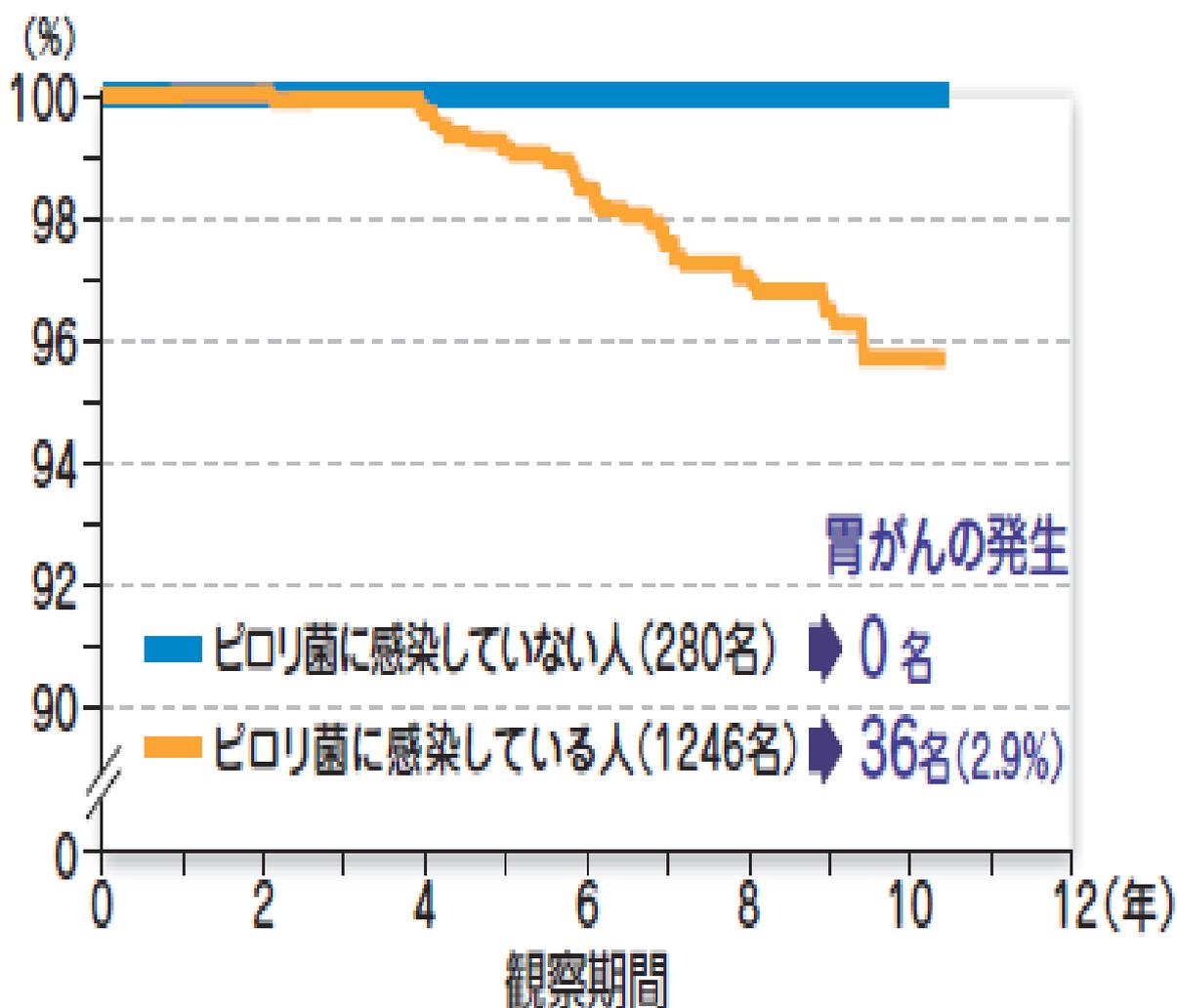
■ 除菌できなかった場合



Asaka M. et al.: J. Gastroenterol. 38, 339, 2003

◎ **ピロリ菌**に感染していると**胃がん**になりやすくなります。

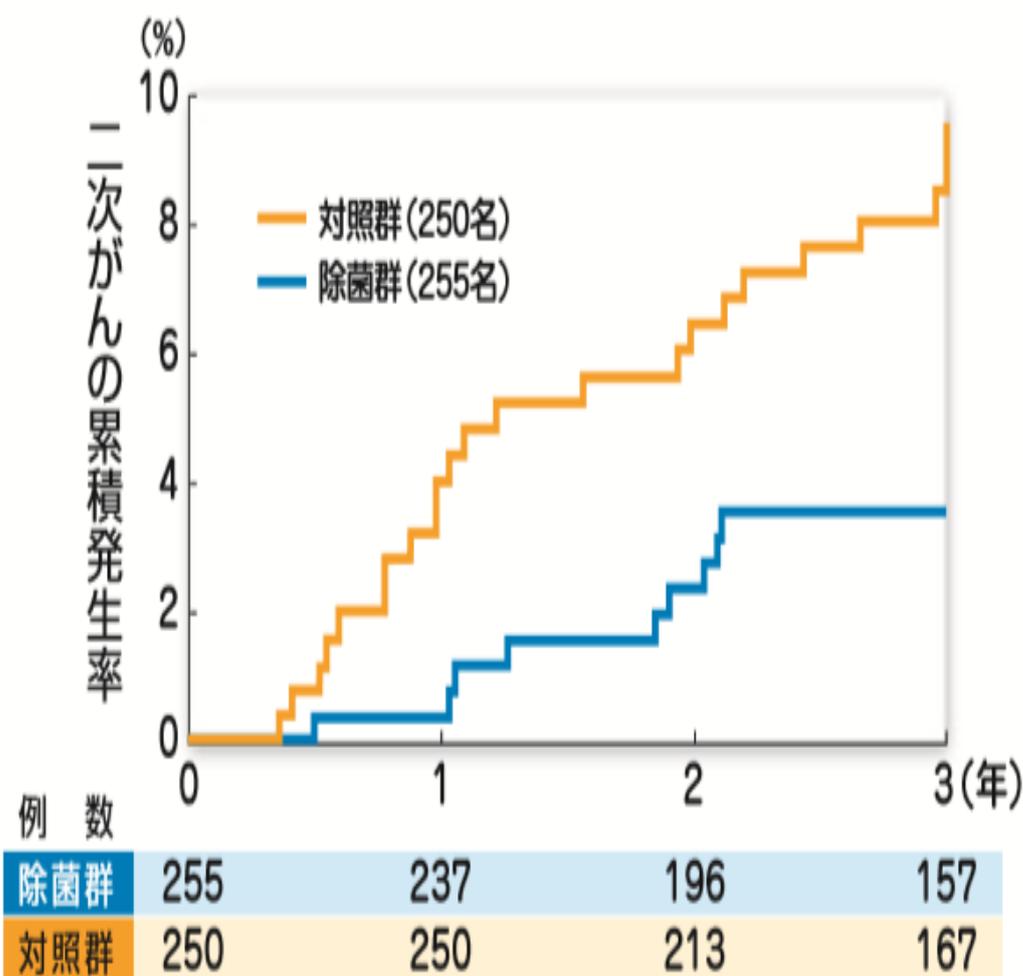
胃がんを認めない人の割合



Uemura, N., et al.: N Engl J Med, 345, 784, 2001

◎ ピロリ菌を除菌すると胃がんの発生率が3分の1に減ります。

早期胃がん内視鏡治療後の異時性多発がん発生 に対する *H. pylori* 除菌効果



Fukase K. Kato M. Asaka M. et al.: Lancet. 372, 9636, 392, 2008

◎ ピロリ菌の検査

胃カメラを使う方法

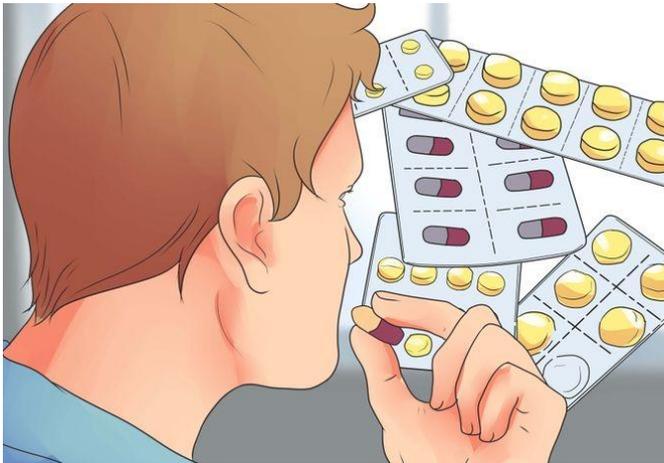
- 培養法
- 迅速ウレアーゼ法
- 組織鏡検法

胃カメラを使わない方法

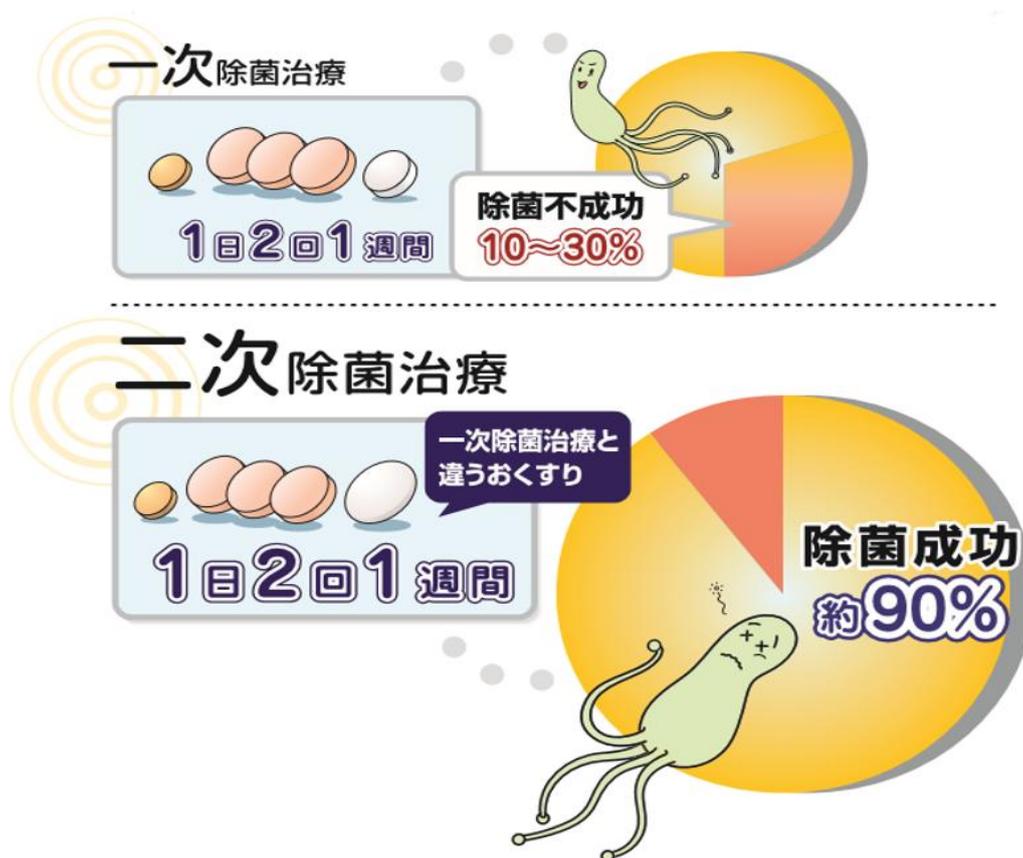
- 尿素呼気試験法 [呼気]
- 抗体測定法 [尿、血液]
- 抗原測定法 [便]



◎ **ピロリ菌**の治療は、**2種類**の抗生物質
と**1種類**の胃酸を抑えるくすりを1日
2回（朝夕）、1週間のむことにより約
70-80%に患者さんに除菌可能です
（**1次除菌**）。



◎ さらに、1回目の治療で除菌できなかった場合、お薬を変えて治療を行うことにより、約90%の患者さんで除菌ができます（**2次除菌**）。



◎ **ピロリ菌**は乳幼児期に感染することがほとんどです。感染を撲滅するため、親になる年齢以前に**ピロリ菌**の有無を調べて、陽性の場合は**除菌**しましょう。



***** 補 足 *****

ピロリ菌は、次のような病気にも関係しています。

◎ 胃 MALT リンパ腫

◎ 機能性胃腸症

◎ 胃ポリープ

◎ 特発性血小板減少性紫斑病



出典 ピロリ菌 Q&A (EA ファーマ株式会社)
北海道大学 がん予防内科学講座 特任教授 浅香正博先生
ピロリ菌の二次除菌治療を受けられる患者さんへ
大分大学医学部 消化器内科学講座 教授

「胃炎の京都分類」

ピロリ菌と内視鏡所見との関連を包括した分類

Table 1. *H. pylori* 感染状態からみた内視鏡所見

局在	内視鏡所見名	英語表記	感染	未感染	除菌後	
胃粘膜全体	萎縮	atrophy	○	×	○～×	
	びまん性発赤	diffuse redness	○	×	×	
	腺窩上皮過形成性ポリープ	foveolar-hyperplastic polyp	○	×	○～×	
	地図状発赤	map-like redness	×	×	○	
	黄色腫	xanthoma	○	×	○	
	ヘマチン	hematin	△	○	○	
	稜線状発赤	red streak	△	○	○	
	腸上皮化生	intestinal metaplasia	○	×	○～△	
	粘膜腫脹	mucosal swelling	○	×	×	
	斑状発赤	patchy redness	○	○	○	
	陥凹型びらん	depressive erosion	○	○	○	
	胃体部	皺襞腫大, 蛇行	enlarged fold, tortuous fold	○	×	×
		白濁粘液	sticky mucus	○	×	×
胃体部～穹窿部	胃底腺ポリープ	fundic gland polyp	×	○	○	
	点状発赤	spotty redness	○	×	△～×	
	多発性白色扁平隆起	multiple white and flat elevated lesions	△	○	○	
胃体下部小彎～胃角	RAC	regular arrangement of collecting venules	×	○	×～△	
胃前庭部	島肌	nodularity	○	×	△～×	
	隆起型びらん	raised erosion	△	○	○	

○ 観察されることが多い, × 観察されない, △ 観察されることがある.
文献 29) から引用.

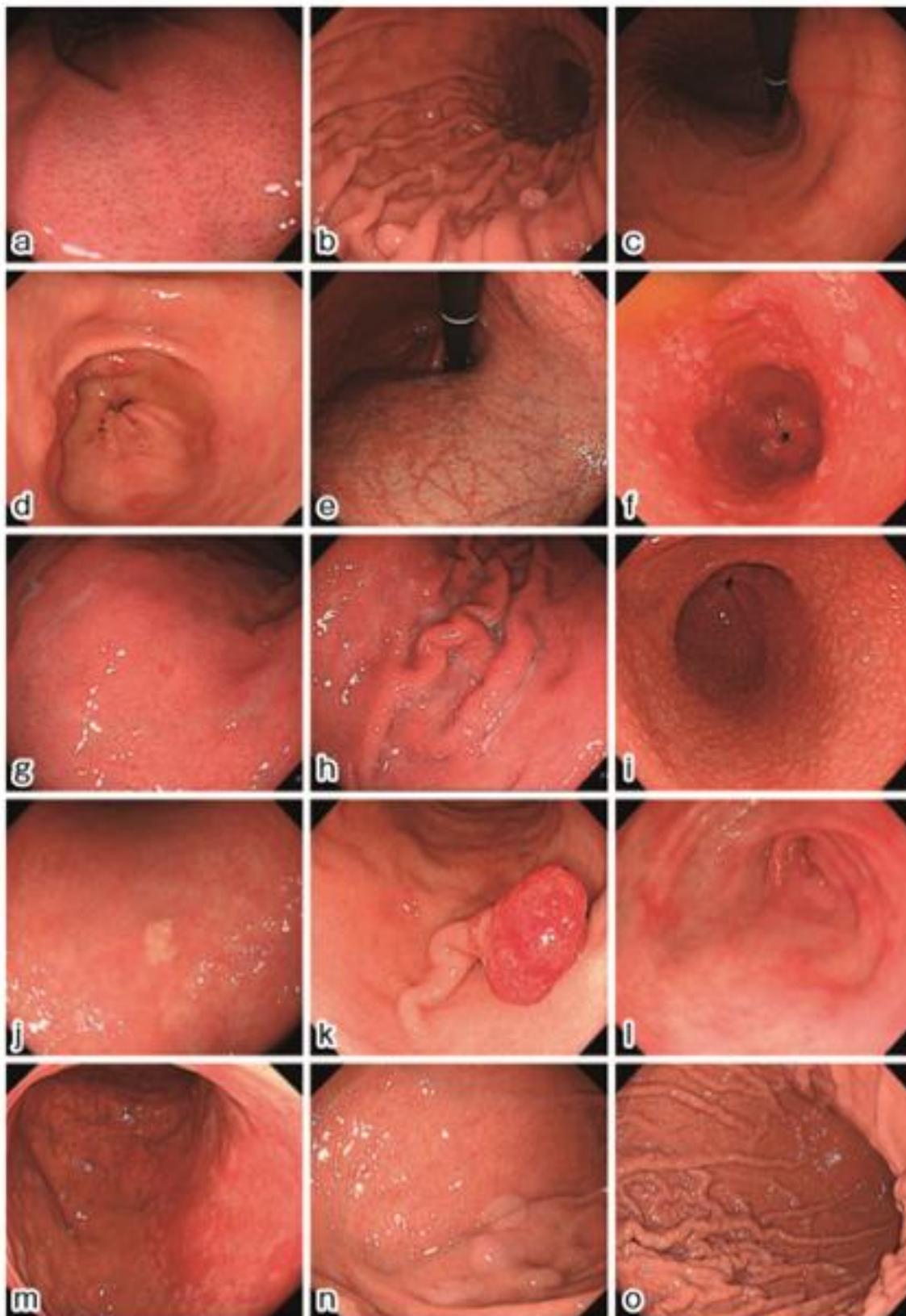


Figure 1. *H. pylori* 感染の有無および薬剤による主な胃粘膜所見 a: RAC (regular arrangement of collecting venules), b: 胃底腺ポリープ, c: 稜線状発赤, d: 隆起型びらん, e: 萎縮, f: 腸上皮化生, g: びまん性発赤, h: 皺襞腫大・白濁粘液, i: 烏肌, j: 黄色腫, k: 腺窩上皮過形成性ポリープ, l: 斑状発赤, m: 地図状発赤, n: 白色扁平隆起 (春岡・川口病変), o: 敷石状粘膜.